

当別町生活交通ネットワーク計画

平成 23 年 6 月

当 別 町

《 目 次 》

第1部 当別町における地域公共交通について

1. 当別町における地域公共交通確保の背景	1
2. 地域公共交通確保維持事業に係る目的と必要性	5
3. 地域公共交通確保維持事業に係る定量的な目的と効果	5

第2部 地域公共交通確保維持事業による路線の維持

1. 対象路線の概要	6
2. 市街地循環線	11
3. 金沢線	15
4. みどり野線、青山線	18
5. 協議会について	22
6. 添付書類	23

第1部 当別町における地域公共交通について

1. 当別町における地域公共交通確保の背景

(1) コミュニティバス運行以前のバス交通の状況

当別町における生活交通の特徴として、大きく4つの点が挙げられる。

- 1 当別町には275号と337号の2つの国道があり、札幌市中心部まで近く、JR学園都市線を使えば約40分という通勤圏内である。
- 2 町内にJR石狩当別駅・JR石狩太美駅を中心とした市街地が2箇所ある。
- 3 市街地以外は広大な農地が広がり、住宅が分散している。
- 4 町運営のスクールバス・福祉バスのほか、独自の目的でバスによる交通サービスを行っている企業や病院が数多く存在する。

公共交通機関がなく、自家用車に頼らざるを得ない環境が、民間事業者の独自輸送サービスの増加に繋がっていることは明白であった。一般の住民は、目の前を走る多くのバスに乗ることができず、自家用車に頼った生活を送っていた。

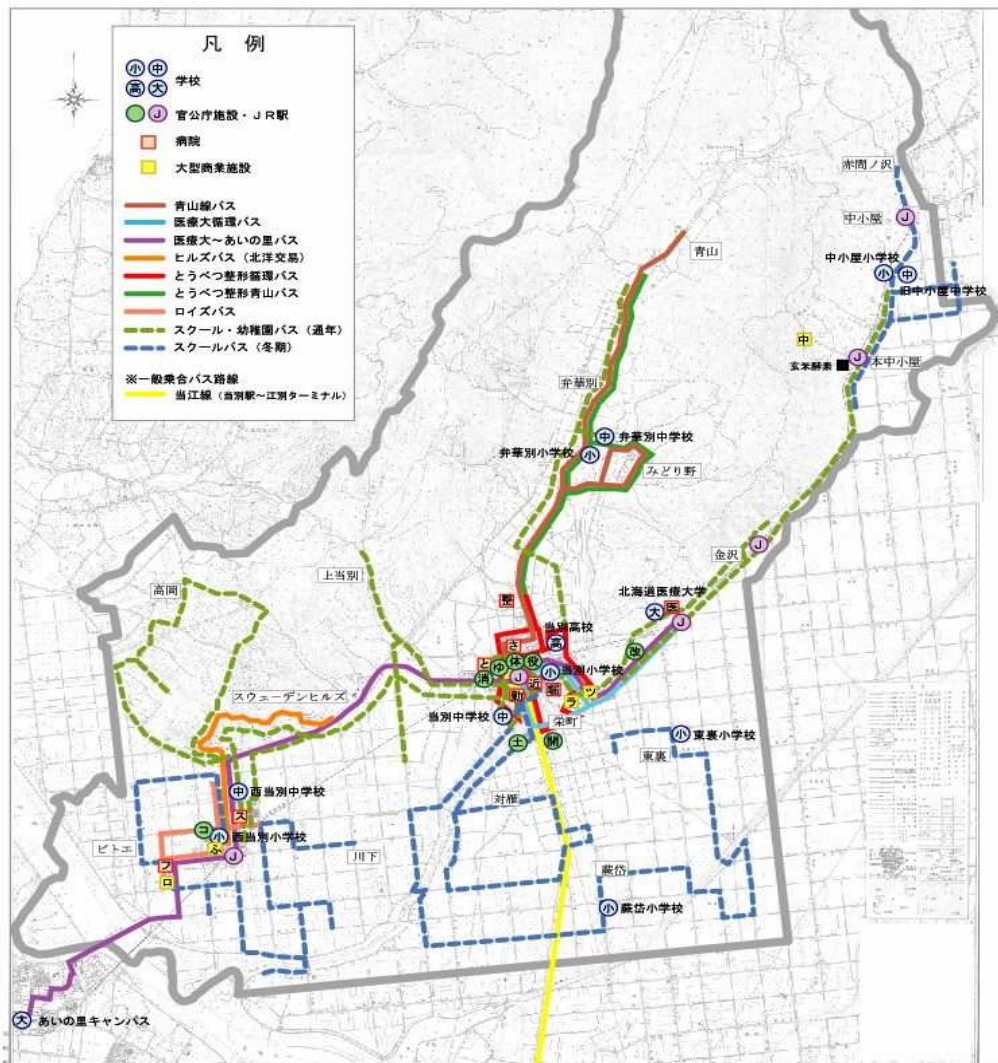


図 1-1-1 コミュニティバス一元化以前のバス交通の状況

(2) 当別町バス交通体系調査研究事業の実施

町内には当江線（当別町 江別市）と青山線（JR 石狩当別駅 町内青山地区）のバス路線しかなく、地域住民のための総合的なバス路線網は存在していない。前述の特徴を踏まえて環境、交通安全、高齢化社会の問題を考えたとき、町内及び札幌市あいの里地区までを多目的に運行しているバスを一元管理し、路線・ダイヤの合理化・効率化を図れば、各バス事業者の経費を削減できると共に、地域住民の利便性の高い生活交通サービスを提供できる運行体制を構築できる可能性があることに着眼した。

そこで、調査検討委員会を設置して町内における交通ニーズを通勤、通学、通院、その他生活交通体系全般にわたって把握するための調査を行うことでバス交通体系のあり方や課題を明確にし、その結果を基に、需要予測と収支バランスを分析することで多目的に運行されているバスを一元化し、運行の合理化による継続可能な交通サービスの供給体制の構築を検討した。

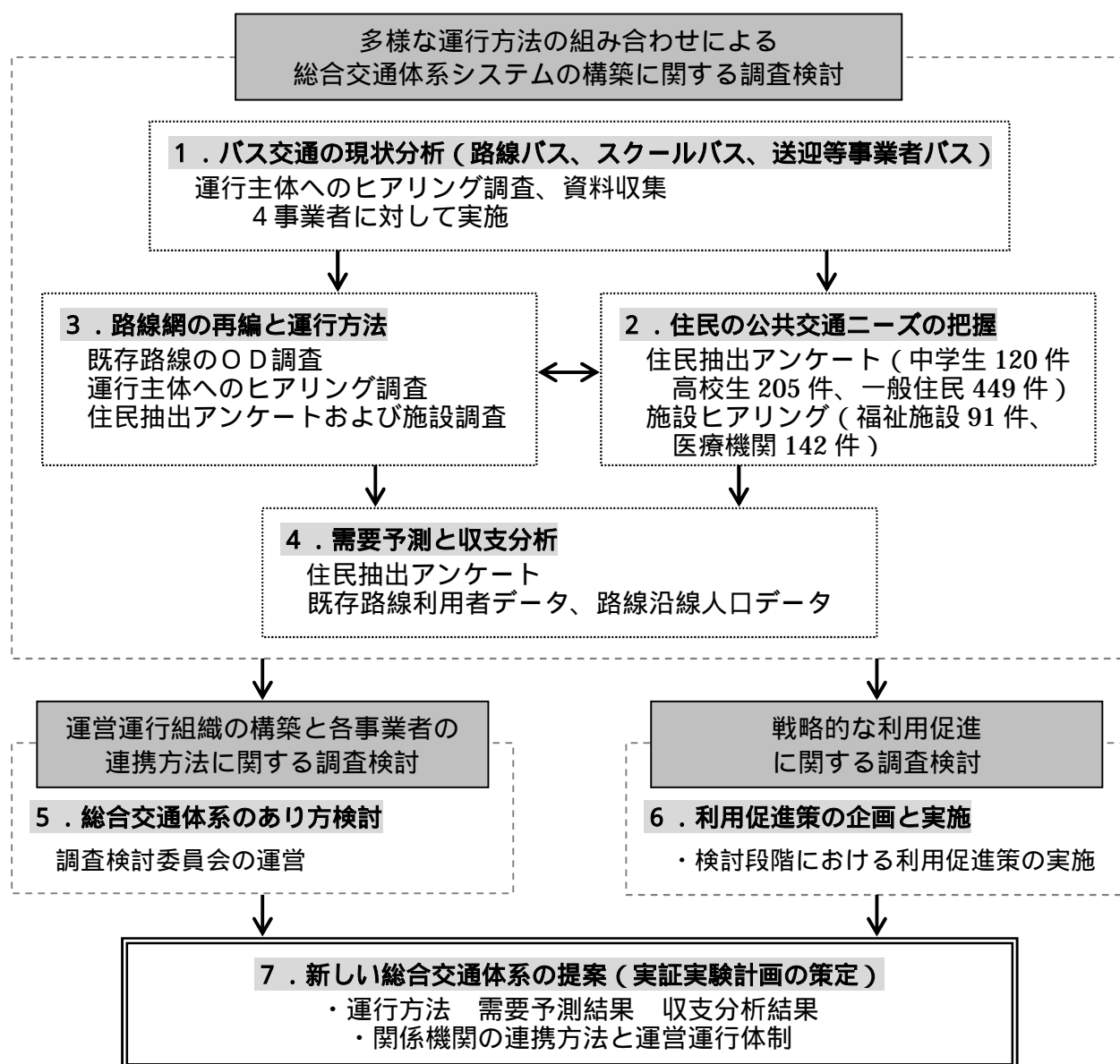


図 1-1-2 当別町バス交通体系調査研究事業の流れ

(3) 実証運行体制と路線の構築

当別町内には複数の企業によって複数の送迎サービスが運行されており、当別町コミュニティバスを運行するに当たっては、これらを統合集約することによって現在の車両やドライバーを活用するとともに、利用者を集約することで一定の利用者数を確保し、安定的な運行が期待できることが、調査研究委員会により結論付けられた。

実証運行の路線や料金体系は、実証運行事業に参加する事業者の既存路線と、アンケート等による需要予測より構築した。



図 1-1-3 当別町コミュニティバス一元化イメージ



図 1-1-4 当別町コミュニティバス実証運行路線（市街地エリア）

2．地域公共交通確保維持事業に係る目的と必要性

平成18年度より行ってきた実証運行により、導入以前は2路線22便しかなかったバス交通が、コミュニティバス80便(平日)、当江線8便(平日)、合計88便の4倍まで増やすことができた。利用者もコミュニティバス導入以前に比べ1.8倍まで増加したことは、一元化によるコミュニティバス導入の最大のメリットと言える。

これらの住民に根付いたコミュニティバスシステムを維持し、交通弱者である子供や高齢者の移動手段を確保することで、住民の住環境の向上、高齢者の行動範囲拡大による健康増進を図るほか、コミュニティバスを通じた環境教育による環境意識の啓発にも資することができる。

一度失ってしまったバス交通を回復させるために5年の歳月を要したことを考えると、バス路線は容易に廃止すべきものではなく、子供や高齢者の健康で安全な必要最低限の住環境を守るためにも、地域公共交通の中心であるコミュニティバスを確保することは重要である。

3．地域公共交通確保維持事業に係る定量的な目標と効果

(1) 目標

コミュニティバスを運行することによる住民に対する生活レベルの向上効果を得るため、次の目標を定める。

・バス利用者の増加	年間利用者数	14万人	15万人
・運行経費に対する収入の割合		22%	25%
・住民のコミュニティバスに対する満足度		20.5%	50%

(2) 効果

これらの目標を達成したことで得られる効果は以下の通り。

- ・バスの利用者数が増加することによる収入の増加
- ・安定的な収入の確保によるコミュニティバス事業の安定
- ・バス路線の確保による交通弱者の救済
- ・高齢者の行動範囲拡大による健康増進
- ・公共交通の認知度向上による、住民の環境や健康意識の啓発

第2部 地域公共交通確保維持事業による路線の維持

1. 対象路線の概要

(1) 当別町の地域公共交通の概要

平成18年4月より行った当別町コミュニティバス実証運行事業により、市街地循環線、西当別・あいの里線、金沢線、みどり野・青山線の4路線7系統を、運賃収入と参加事業者負担金で賄う本格運行体制に目処をつけることができた。また、5年間にわたる実証運行により、それぞれの路線の利用者属性や目的地など路線の性質から、あいの里線とその他の路線で大きく分けることができる。

あいの里線は唯一町域を超えて運行する路線であることに加え、その終点に買い物や病院利用といった目的がある利用者が多い。その他の路線は、バスの乗り換え地点であるJR当別駅南口の停留所か、バスとJRの乗り換え地点であるJR石狩当別駅やJR石狩太美駅を目的とした利用者が多い。

よって、当別町における生活交通ネットワークは、JR学園都市線とコミュニティバスあいの里線を主要な幹線とし、それに接続するその他のコミュニティバス路線をフィーダー系統として、相互を補完する形が構築できている。

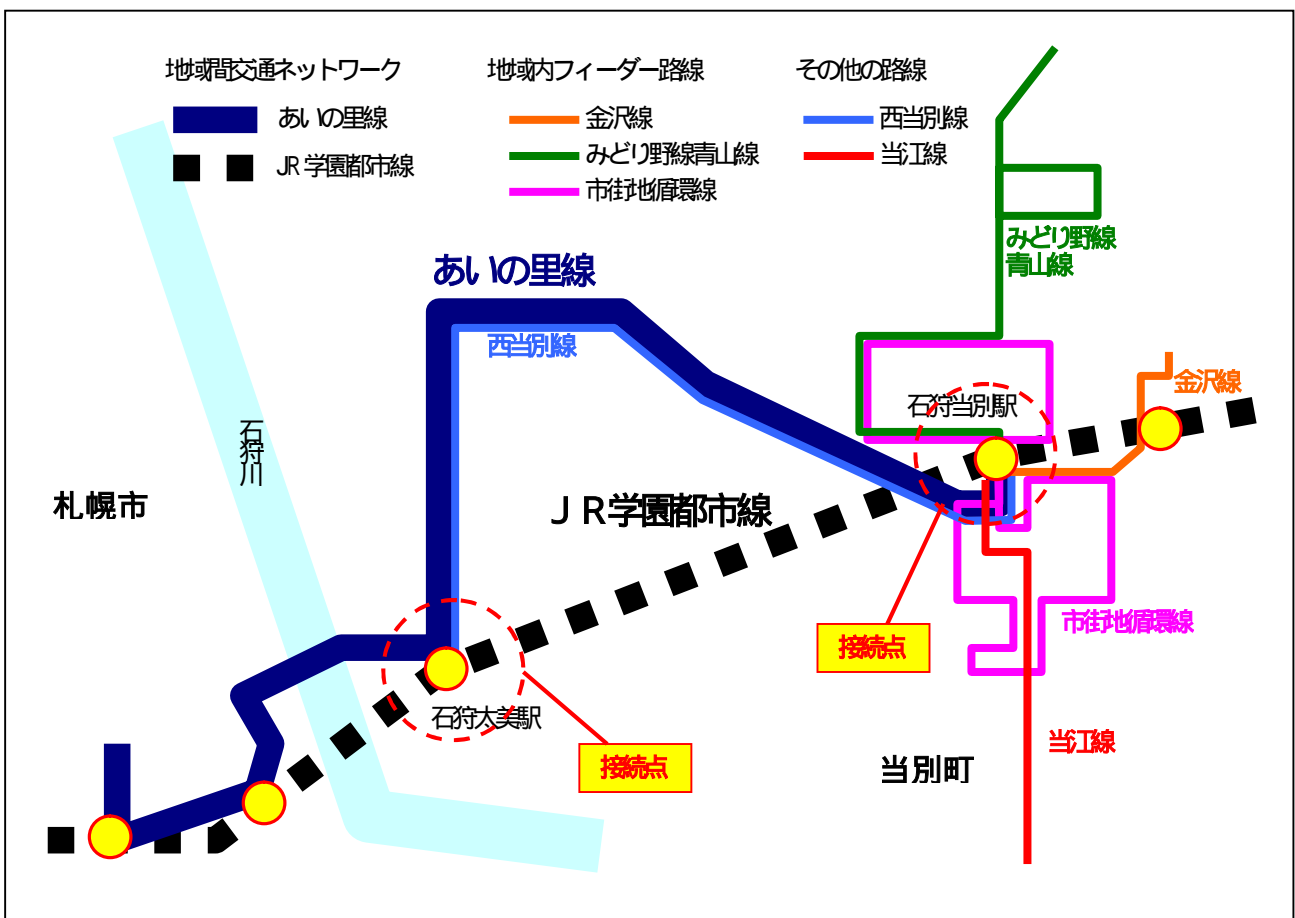


図 2-1-1 生活交通ネットワーク路線イメージ

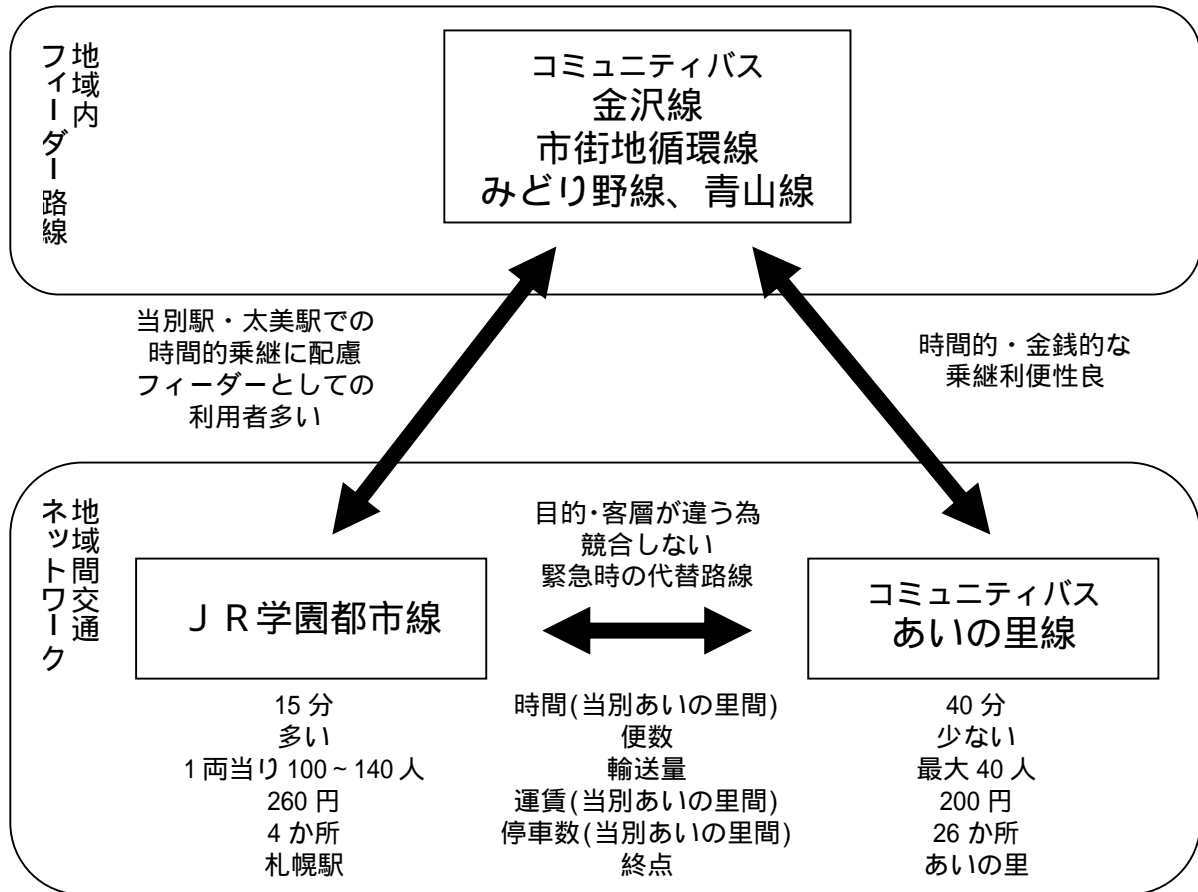


図 2-1-2 各路線の補完イメージ

	系統種別	エリア	主な利用者	JRとの乗継利便性	バスとの乗継利便性
JR 学園都市線	地域間交通ネットワーク(鉄軌道)	当別町~札幌市北区	札幌市内の通勤・通学 または買物		
あいの里線	地域間交通ネットワーク(幹線バス)	当別町~札幌市北区	石狩太美駅での乗換、あいの里へ買物・通院	石狩太美駅で発着時刻調整	金沢線と路線接続
金沢線	地域内フィーダー路線	当別町内本町地区~金沢地区	医療大への通院・通学 あいの里線への乗換		あいの里線と路線接続
みどり野線 青山線	地域内フィーダー路線	当別町内本町地区~青山地区	当別町内の通院・買物 石狩当別駅での乗換	石狩当別駅で発着時刻調整	
市街地循環線	地域内フィーダー路線	当別町内本町地区	当別町内での移動 石狩当別駅での乗換		
西当別線	その他の路線	当別町内本町地区~太美地区	石狩太美駅での乗換	石狩太美駅で発着時刻調整	一部青山線と路線接続

表 4-1-1 各路線の性質

(2) 地域内フィーダー路線の概要

補助の対象となる地域内フィーダー路線とするために、コミュニティバス路線のうち、あいの里線を地域間幹線バス路線とし、JR当別駅南口を接続点に市街地循環線、金沢線、みどり野線、青山線を地域間幹線バス路線に接続する地域内フィーダー路線とする。

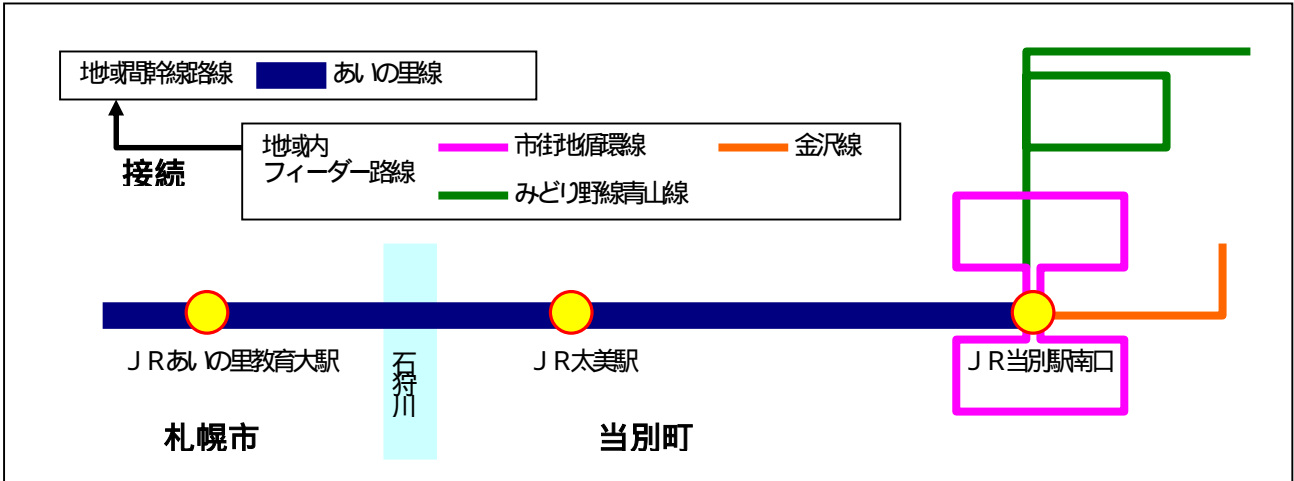


図 2-1-3 地域内フィーダー路線イメージ

コミュニティバス事業として全ての路線を一体として実証運行を行ったことにより、5年間の実証運行の中で、乗り継ぎ円滑化を図るため様々な工夫を進めてきた。

乗り継ぎに適したダイヤの設定

一元化前より一つの路線として運行してきたあいの里線と金沢線については、大部分の路線について同一の車両で運行しており、待ち時間も少なく車両を下りずに乗り換えることができる。また、山間部からのフィーダー路線であるみどり野線青山線についても、コミュニティバスのみで札幌市まで行けるよう、乗り継ぎ時間が少なくなるようなダイヤの設定を行っている。

乗り継ぎに対する料金の割引

コミュニティバスの大きな特徴として、全路線が乗り放題となる応援券の発行があげられる。持っていれば円滑に乗り降りでき、格安でバスを利用することができる。

また、単発での利用者のために大人500円で全路線乗り放題となる、1日乗車券を発行している。乗り継いで往復利用すると800円かかる料金が、500円で利用できるため、安価に乗り継ぐことができる。

2. 市街地循環線

(1) 運行系統の概要

系統名	運行系統	系統 キロ	運行回数		備考
			往	復	
市街地循環線 (昇順コース)	J R 当別駅南口～栄町 ～当別駅南口～春日町～当別駅南口	14.5 km	6 便		循環路線 土日祝日 運休
市街地循環線 (降順コース)	J R 当別駅南口～春日町 ～当別駅南口～栄町～当別駅南口	14.5 km	6 便		循環路線 土日祝日 運休

表 2-2-1 市街地循環線路線概要



図 2-2-1 市街地循環線路線図(平成 22 年 12 月)

【昇順コース】

栄町方面 春日方面 行き	平日 (月曜～金曜)					
	1便	2便	3便	4便	5便	6便
1 JR当別駅南口	7:00	9:00	10:40	13:10	14:50	16:30
2 田西会館前	7:01	9:01	10:41	13:11	14:51	16:31
3 未広セブンイレブン前	7:02	9:02	10:42	13:12	14:52	16:32
4 未広会館	7:02	9:02	10:42	13:12	14:52	16:32
5 ゆとりっち稲穂	7:02	9:02	10:42	13:12	14:52	16:32
6 当別中学校	7:04	9:04	10:44	13:14	14:54	16:34
7 未広団地	7:05	9:05	10:45	13:15	14:55	16:35
8 シルバー人材センター	7:05	9:05	10:45	13:15	14:55	16:35
9 弥生さくら館前	7:06	9:06	10:46	13:16	14:56	16:36
10 つじの蔵	7:06	9:06	10:46	13:16	14:56	16:36
11 栄町	7:07	9:07	10:47	13:17	14:57	16:37
12 札幌土木現業所	7:10	9:10	10:50	13:20	15:00	16:40
13 ブロードタウン	7:10	9:10	10:50	13:20	15:00	16:40
14 栄町会館	7:13	9:13	10:53	13:23	15:03	16:43
15 樺戸団地	7:14	9:14	10:54	13:24	15:04	16:44
16 ラルス前	7:15	9:15	10:55	13:25	15:05	16:45
17 東町団地	7:15	9:15	10:55	13:25	15:05	16:45
18 元町	7:15	9:15	10:55	13:25	15:05	16:45
19 伊達記念館	7:17	9:17	10:57	13:27	15:07	16:47
20 当別郵便局	7:17	9:17	10:57	13:27	15:07	16:47
21 オープンサロン	7:18	9:18	10:58	13:28	15:08	16:48
1 JR当別駅南口 着	7:20	9:20	11:00	13:30	15:10	16:50
22 当別町役場	7:21	9:21	11:01	13:31	15:11	16:51
23 JR当別駅北口	7:21	9:21	11:01	13:31	15:11	16:51
24 ゆとろ	7:22	9:22	11:02	13:32	15:12	16:52
25 森林管理署	7:23	9:23	11:03	13:33	15:13	16:53
26 もみじ公園	7:24	9:24	11:04	13:34	15:14	16:54
27 北栄団地	7:25	9:25	11:05	13:35	15:15	16:55
28 中央団地	7:26	9:26	11:06	13:36	15:16	16:56
29 とうべつ整形外科	7:28	9:28	11:08	13:38	15:18	16:58
28 中央団地	7:29	9:29	11:09	13:39	15:19	16:59
27 北栄団地	7:30	9:30	11:10	13:40	15:20	17:00
30 春日団地	7:32	9:32	11:12	13:42	15:22	17:02
31 ポイントショップ前	7:33	9:33	11:13	13:43	15:23	17:03
32 白樺緑地	7:34	9:34	11:14	13:44	15:24	17:04
33 当別小学校	7:35	9:35	11:15	13:45	15:25	17:05
1 JR当別駅南口	7:40	9:40	11:20	13:50	15:30	17:10

【降順コース】

春日方面 栄町方面 行き	平日 (月曜～金曜)					
	1便	2便	3便	4便	5便	6便
1 JR当別駅南口	7:50	9:50	11:30	14:00	15:40	17:20
33 当別小学校	7:51	9:51	11:31	14:01	15:41	17:21
32 白樺緑地	7:52	9:52	11:32	14:02	15:42	17:22
31 ポイントショップ前	7:53	9:53	11:33	14:03	15:43	17:23
30 春日団地	7:55	9:55	11:35	14:05	15:45	17:25
27 北栄団地	7:57	9:57	11:37	14:07	15:47	17:27
28 中央団地	7:57	9:57	11:37	14:07	15:47	17:27
29 とうべつ整形外科	7:59	9:59	11:39	14:09	15:49	17:29
28 中央団地	8:00	10:00	11:40	14:10	15:50	17:30
27 北栄団地	8:00	10:00	11:40	14:10	15:50	17:30
26 もみじ公園	8:01	10:01	11:41	14:11	15:51	17:31
25 森林管理署	8:02	10:02	11:42	14:12	15:52	17:32
24 ゆとろ	8:03	10:03	11:43	14:13	15:53	17:33
23 JR当別駅北口	8:04	10:04	11:44	14:14	15:54	17:34
22 当別町役場	8:04	10:04	11:44	14:14	15:54	17:34
1 JR当別駅南口 着	8:07	10:07	11:47	14:17	15:57	17:37
21 オープンサロン	8:08	10:08	11:48	14:18	15:58	17:38
20 当別郵便局	8:09	10:09	11:49	14:19	15:59	17:39
19 伊達記念館	8:09	10:09	11:49	14:19	15:59	17:39
18 元町	8:09	10:09	11:49	14:19	15:59	17:39
17 東町団地	8:11	10:11	11:51	14:21	16:01	17:41
16 ラルス前	8:11	10:11	11:51	14:21	16:01	17:41
15 樺戸団地	8:12	10:12	11:52	14:22	16:02	17:42
14 栄町会館	8:14	10:14	11:54	14:24	16:04	17:44
11 栄町	8:16	10:16	11:56	14:26	16:06	17:46
12 札幌土木現業所	8:18	10:18	11:58	14:28	16:08	17:48
13 ブロードタウン	8:18	10:18	11:58	14:28	16:08	17:48
10 つじの蔵	8:20	10:20	12:00	14:30	16:10	17:50
9 弥生さくら館前	8:20	10:20	12:00	14:30	16:10	17:50
8 シルバー人材センター	8:21	10:21	12:01	14:31	16:11	17:51
7 未広団地	8:21	10:21	12:01	14:31	16:11	17:51
6 当別中学校	8:22	10:22	12:02	14:32	16:12	17:52
5 ゆとりっち稲穂	8:23	10:23	12:03	14:33	16:13	17:53
4 未広会館	8:23	10:23	12:03	14:33	16:13	17:53
3 未広セブンイレブン前	8:23	10:23	12:03	14:33	16:13	17:53
2 田西会館前	8:24	10:24	12:04	14:34	16:14	17:54
1 JR当別駅南口	8:30	10:30	12:10	14:40	16:20	18:00

表 2-2-2 市街地循環線時刻表

(2) 路線の経過

平成17年度の調査では市街地エリアのニーズが多く、運行経費の統合によるスケールメリットを生かし、新規の循環路線を構築した。石狩当別駅南口を中心に北側と南側に八の字で運行し、所用時間は40分程度である。平成18年、平成19年に路線の変更を行い、運行エリアを延長し、現在の路線に至る。

新規路線であることから、参加事業者の影響を受けない路線であったが、平成18年12月の路線変更の際、六軒町方面に延長したことから、当時参加事業者であったとうべつ整形外科の患者も無料利用の対象者とした。その後、平成22年3月にとうべつ整形外科が参加事業者より脱退したことで、そのサービスも終了した。

(3) 路線・ダイヤの変遷について

実証運行開始当初は多くの利用者を見込んで路線を構築したが、運行開始より利用者数が伸びず、減便や試験路線の運行を数多く行った。平成18年12月には、総合保健福祉センター「ゆとろ」を中心とした「ゆとろ線」、平成19年10月には、ラルズストアを中心とした「お買い物ふれバ」をそれぞれ新規路線として構築したが、利用者が伸びなかったことからいずれも1年程度で廃止した。

	昇順	降順	新規路線	路線・ダイヤ改正の状況
H18.4	10便 (6便)	10便 (6便)		
H18.8	10便 (5便)	9便 (5便)		ダイヤと便数の変更
H18.12	6便	6便	ゆとろ線 4便	土日祝日の利用者が少ないため、廃止 六軒町方面及び栄町方面に路線を延長 保健福祉センターを中心に走る「ゆとろ線」を創設
H19.10	4便	4便	お買い物 8便	下川町方面に路線を延長 「ゆとろ線」の廃止 ラルズストアを中心に走る「お買い物ふれバ」を創設
H21.4	8便	7便		活性化事業の補助によりバスを1台追加し、2台で運行 便数を増加するとともに、循環線に乗り続けられる乗り 越しを実施
H22.4	7便	6便		夕方時間帯の便数を減便し、運行費用を削減
H22.12	6便	6便		使用車両台数を2台から1台に減少し、運行費用を削減

表2-2-3 路線・ダイヤの変遷

(4) 利用実績について

既存路線を統合した路線では無いため、運行当初の利用者数は伸び悩んだ。平成18年12月より路線を延長し、とうべつ整形外科の患者の無料利用が始まると、利用者数は増加した。しかし、平成22年3月で当別整形外科が参加事業者から脱退すると、利用者数が減少した。

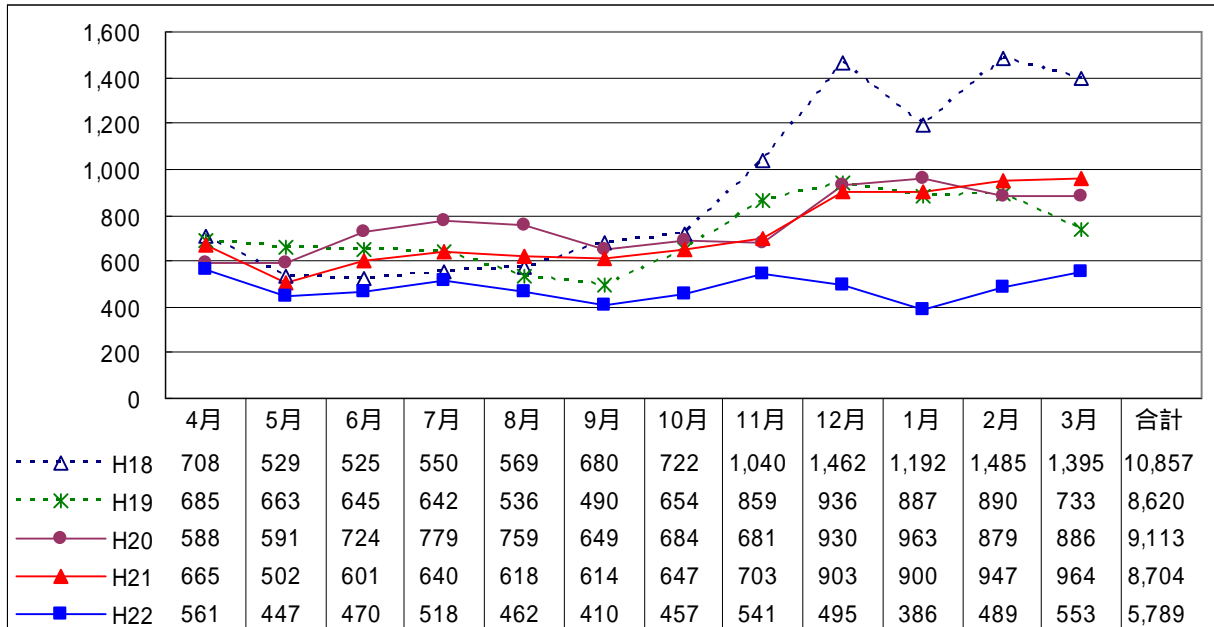


図 2-2-2 市街地循環線月別利用者推移

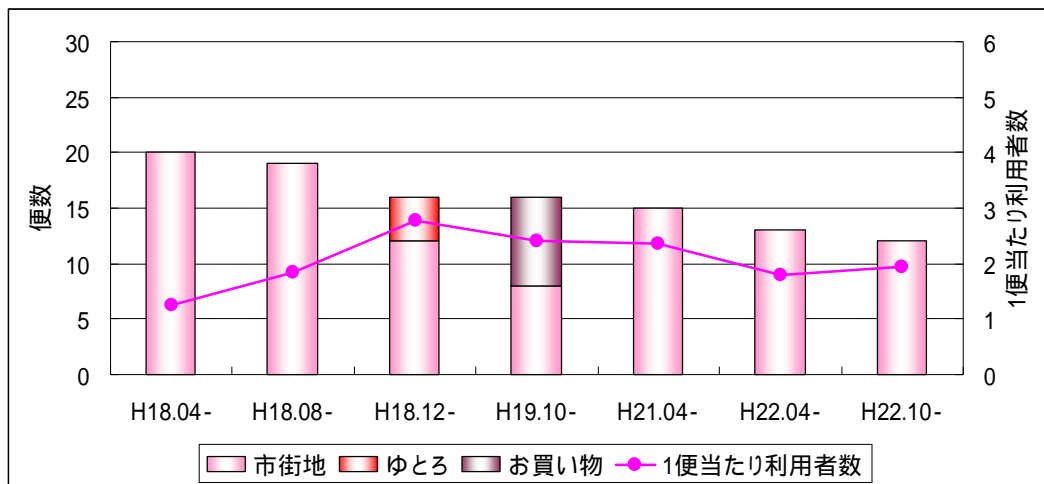


図 2-2-3 ダイヤ改正期別 1 便当たり利用者数推移 (平日)

3. 金沢線

(1) 運行系統の概要

系統名	運行系統	系統 キロ	運行回数		備考
			往	復	
金沢線	J R当別駅南口～北海道医療大学	4.0 km	11回	13回	土日祝 運休

表 2-3-1 金沢線路線概要



図 2-3-1 金沢線路線図 (平成 22 年 12 月)

北海道医療大学 行き	平日 (月曜～金曜)										
	1便	2便	3便	4便	5便	6便	7便	8便	9便	10便	11便
1 JR当別駅南口	8:35	9:25	10:05	10:35	12:15	13:25	13:48	15:25	16:15	17:00	17:50
33 当別小学校	8:36	9:26	10:06	10:36	12:16	13:26	13:49	15:26	16:16	17:01	17:51
58 元町浄水場	8:37	9:27	10:07	10:37	12:17	13:27	13:50	15:27	16:17	17:02	17:52
17 東町団地	8:38	9:28	10:08	10:38	12:18	13:28	13:51	15:28	16:18	17:03	17:53
16 ラルス前	8:38	9:28	10:08	10:38	12:18	13:28	13:51	15:28	16:18	17:03	17:53
59 機械センター	8:39	9:29	10:09	10:39	12:19	13:29	13:52	15:29	16:19	17:04	17:54
60 篠津中央土地改良区	8:40	9:30	10:10	10:40	12:20	13:30	13:53	15:30	16:20	17:05	17:55
61 北海道医療大学	8:47	9:37	10:17	10:47	12:27	13:37	14:00	15:37	16:27	17:12	18:02

JR当別駅南口 行き	平日 (月曜～金曜)												
	1便	2便	3便	4便	5便	6便	7便	8便	9便	10便	11便	12便	13便
61 北海道医療大学	8:50	9:40	10:33	11:33	12:33	13:43	14:33	16:03	16:43	17:18	18:03	18:55	19:48
60 篠津中央土地改良区	8:51	9:41	10:34	11:34	12:34	13:44	14:34	16:04	16:44	17:19	18:04	18:56	19:49
59 機械センター	8:53	9:43	10:36	11:36	12:36	13:46	14:36	16:06	16:46	17:21	18:06	18:58	19:51
16 ラルス前	8:54	9:44	10:37	11:37	12:37	13:47	14:37	16:07	16:47	17:22	18:07	18:59	19:52
17 東町団地	8:54	9:44	10:37	11:37	12:37	13:47	14:37	16:07	16:47	17:22	18:07	18:59	19:52
58 元町浄水場	8:55	9:45	10:38	11:38	12:38	13:48	14:38	16:08	16:48	17:23	18:08	19:00	19:53
33 当別小学校	8:56	9:46	10:39	11:39	12:39	13:49	14:39	16:09	16:49	17:24	18:09	19:01	19:54
1 JR当別駅南口	9:02	9:52	10:45	11:45	12:45	13:55	14:45	16:15	16:55	17:30	18:15	19:07	20:00

表 2-3-2 金沢線時刻表

(2) 路線の経過

本路線は、北海道医療大学が運行していた当別町内を運行していた循環路線をコミュニティバス化した路線である。JR石狩当別駅を始点とし、当別小学校を經由し、国道275号線を走り、北海道医療大学までの4kmを金沢線とした。

北海道医療大学が運行していた送迎バスのサービスを引き継ぎ、北海道医療大学で乗降する患者や学生は無料で利用できる。利用方法は、医療大学で降車する際は診察券や学生証を提示する。医療大学で乗車し、路線内の停留所で降車する際は、病院や大学が発行する無料チケットを運賃箱に投入する。

また、北海道医療大学が一元化以前に運用していた時と同様のサービスとするため、金沢線からあいの里線の乗り継ぎをスムーズにできるよう、同一車両による運行を行えるようダイヤの工夫を行った。

(3) 路線・ダイヤの変遷について

運行当初から路線の変更は行わず、ダイヤの変更を行ってきた。基本的には運行当初の26便を維持していたが、本格運行路線に移行する際、減便した。

また、平成21年度より医療大学の1講目の講義に間に合うダイヤを組んだところ、1台に乗り切れないくらい利用者が激増したため、平成22年度のダイヤ改正では、激増しても対応できる配車ができるように改正した。

	金沢線	路線・ダイヤ改正の状況
H18.4	26便	医療大行き12便、当別駅南口行き14便
H18.8	26便	時刻の微調整
H18.12	26便	時刻の微調整
H19.10	26便	時刻の微調整
H21.4	26便	医療大行き13便、当別駅南口行き13便に変更
H22.4	26便	医療大行き12便、当別駅南口行き14便に変更
H22.12	24便	医療大行き11便、当別駅南口行き13便に減便

表2-3-3 路線・ダイヤの変遷

(4) 利用実績について

北海道医療大学の学生利用者が、平成18年度より年々増加している。また夏休み春休みには学生が大学に行かないため著しく利用者が減少している。

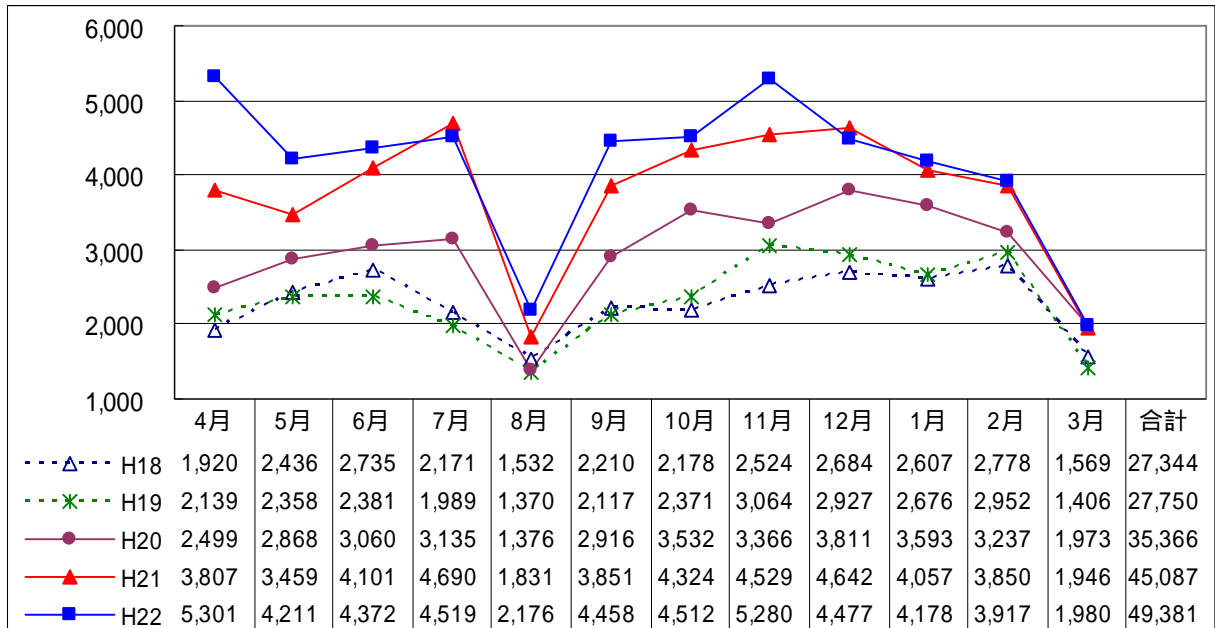


図 2-3-2 金沢線月別利用者推移

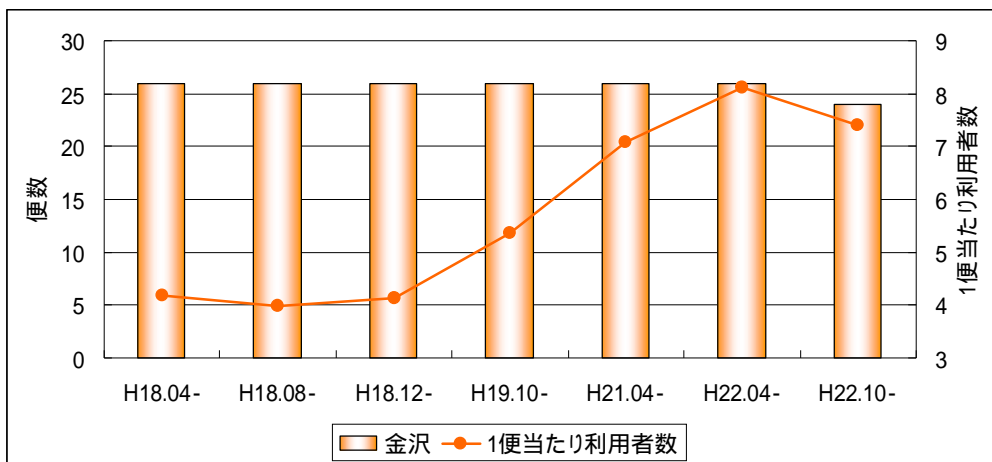


図 2-3-3 ダイヤ改正期別 1 便当たり利用者数推移 (平日)

みどり野会館 行き	平日(月曜～金曜)		JR当別駅南口 行き	平日(月曜～金曜)	
	1便	2便		1便	2便
1 JR当別駅南口	9:15	13:52	67 みどり野会館	9:43	14:20
22 当別町役場	9:16	13:53	66 みどり野団地	9:44	14:21
23 JR当別駅北口	9:16	13:53	65 茂平沢北部	9:47	14:24
24 ゆとろ	9:17	13:54	64 弁華別郵便局	9:48	14:25
25 森林管理署	9:18	13:55	63 茂平沢橋	9:50	14:27
26 もみじ公園	9:19	13:56	62 二番地橋	9:52	14:29
27 北栄団地	9:20	13:57	29 とうべつ整形外科	9:53	14:30
28 中央団地	9:21	13:58	28 中央団地	9:54	14:31
29 とうべつ整形外科	9:22	13:59	27 北栄団地	9:55	14:32
62 二番地橋	9:24	14:01	26 もみじ公園	9:56	14:33
63 茂平沢橋	9:26	14:03	25 森林管理署	9:57	14:34
64 弁華別郵便局	9:28	14:05	24 ゆとろ	9:58	14:35
65 茂平沢北部	9:29	14:06	23 JR当別駅北口	9:59	14:36
66 みどり野団地	9:32	14:09	22 当別町役場	10:00	14:37
67 みどり野会館	9:40	14:17	1 JR当別駅南口	10:08	14:45

表 2-4-2 みどり野線時刻表

青山会館 行き	平日(月曜～金曜)						土曜・日曜・祝日		
	1便	2便	3便	4便	5便	6便	1便	2便	3便
1 JR当別駅南口	7:55	10:15	12:25	15:10	17:40	19:45	10:15	12:35	17:50
22 当別町役場	7:56	10:16	12:26	15:11	17:41	19:46	10:16	12:36	17:51
23 JR当別駅北口	7:56	10:16	12:26	15:11	17:41	19:46	10:16	12:36	17:51
24 ゆとろ	7:57	10:17	12:27	15:12	17:42	19:47	10:17	12:37	17:52
25 森林管理署	7:58	10:18	12:28	15:13	17:43	19:48	10:18	12:38	17:53
26 もみじ公園	7:59	10:19	12:29	15:14	17:44	19:49	10:19	12:39	17:54
27 北栄団地	8:00	10:20	12:30	15:15	17:45	19:50	10:20	12:40	17:55
28 中央団地	8:01	10:21	12:31	15:16	17:46	19:51	10:21	12:41	17:56
29 とうべつ整形外科	8:02	10:22	12:32	15:17	17:47	19:52	10:22	12:42	17:57
62 二番地橋	8:04	10:24	12:34	15:19	17:49	19:54	10:24	12:44	17:59
63 茂平沢橋	8:06	10:26	12:36	15:21	17:51	19:56	10:26	12:46	18:01
64 弁華別郵便局	8:08	10:28	12:38	15:23	17:53	19:58	10:28	12:48	18:03
65 茂平沢北部	8:09	10:29	12:39	15:24	17:54	19:59	10:29	12:49	18:04
66 みどり野団地	8:12	10:32	12:42	15:27	17:57	20:02	10:32	12:52	18:07
67 みどり野会館	8:13	10:33	12:43	15:28	17:58	20:03	10:33	12:53	18:08
68 第8組合	8:17	10:37	12:47	15:32	18:02	20:07	10:37	12:57	18:12
69 第10組合	8:19	10:39	12:49	15:34	18:04	20:09	10:39	12:59	18:14
70 阿蘇岩口	8:21	10:41	12:51	15:36	18:06	20:11	10:41	13:01	18:16
71 青山会館	8:30	10:50	13:00	15:45	18:15	20:20	10:50	13:10	18:25

JR当別駅南口 行き	平日(月曜～金曜)						土曜・日曜・祝日		
	1便	2便	3便	4便	5便	6便	1便	2便	3便
71 青山会館	7:10	8:35	10:50	13:00	15:48	18:20	7:30	10:50	13:15
70 阿蘇岩口	7:12	8:37	10:52	13:02	15:50	18:22	7:32	10:52	13:17
69 第10組合	7:14	8:39	10:54	13:04	15:52	18:24	7:34	10:54	13:19
68 第8組合	7:16	8:41	10:56	13:06	15:54	18:26	7:36	10:56	13:21
67 みどり野会館	7:20	8:45	11:00	13:10	15:58	18:30	7:40	11:00	13:25
66 みどり野団地	7:21	8:46	11:01	13:11	15:59	18:31	7:41	11:01	13:26
65 茂平沢北部	7:24	8:49	11:04	13:14	16:02	18:34	7:44	11:04	13:29
64 弁華別郵便局	7:25	8:50	11:05	13:15	16:03	18:35	7:45	11:05	13:30
63 茂平沢橋	7:27	8:52	11:07	13:17	16:05	18:37	7:47	11:07	13:32
62 二番地橋	7:29	8:54	11:09	13:19	16:07	18:39	7:49	11:09	13:34
29 とうべつ整形外科	7:30	8:55	11:10	13:20	16:08	18:40	7:50	11:10	13:35
28 中央団地	7:31	8:56	11:11	13:21	16:09	18:41	7:51	11:11	13:36
27 北栄団地	7:32	8:57	11:12	13:22	16:10	18:42	7:52	11:12	13:37
26 もみじ公園	7:33	8:58	11:13	13:23	16:11	18:43	7:53	11:13	13:38
25 森林管理署	7:34	8:59	11:14	13:24	16:12	18:44	7:54	11:14	13:39
24 ゆとろ	7:35	9:00	11:15	13:25	16:13	18:45	7:55	11:15	13:40
23 JR当別駅北口	7:36	9:01	11:16	13:26	16:14	18:46	7:56	11:16	13:41
22 当別町役場	7:37	9:02	11:17	13:27	16:15	18:47	7:57	11:17	13:42
1 JR当別駅南口	7:45	9:10	11:25	13:35	16:23	18:55	8:05	11:25	13:50

表 2-4-3 青山線時刻表

(2) 路線の経過

本路線は、当別町が赤字を補填していた路線バス「青山線」と、とうべつ整形外科が患者送迎用として運行していたバスを統合した路線である。基本的な路線はほぼ旧「青山線」と同様の路線を運行している。JR石狩当別駅を始点とし、道道 号線を通り、みどり野会館を終点とする路線をみどり野線、青山会館を終点とする路線を青山線とした。

とうべつ整形外科が運行していた送迎バスのサービスを引き継ぎ、とうべつ整形外科で乗降する患者は無料で利用できる。利用方法は、とうべつ整形外科で降車する際は診察券を提示する。北海道医療大学で乗車し、路線内の停留所で降車する際は、病院が発行する無料チケットを運賃箱に投入する。その後、平成22年3月にとうべつ整形外科が参加事業者より脱退したことで、そのサービスも終了した。

(3) 路線・ダイヤの変遷について

運行当初から路線の変更は行わず、ダイヤの変更を行ってきた。平成19年のダイヤ改正では、土日祝日のみどり野線を廃止する代わりに、青山線を増便した。

本格運行時には、土日祝日の運行経費を抑制するため、利用者の少ない便を1便減便した。

	青山線	みどり野線	路線・ダイヤ改正の状況
H18.4	9便 (4便)	6便 (4便)	
H18.8	9便 (4便)	6便 (4便)	時刻の微調整
H18.12	9便 (6便)	6便 (4便)	土日祝日の青山線を1往復(2便)増便
H19.10	10便 (7便)	6便	平日の青山線を1便増便 土日祝日のみどり野線を廃止し、青山線を1便増便
H21.4	12便 (7便)	4便	平日のみどり野線のうち、1往復(2便)を青山線に延長
H22.4	12便 (7便)	4便	西当別線と青山線の乗り継ぎ向上
H22.12	12便 (6便)	4便	土日祝日の青山線を1便減便

表2-4-4 路線・ダイヤの変遷

(4) 利用実績について

従前より運行していた青山線の利用者と、とうべつ整形外科の患者が利用していたため、実証運行当初の利用者は多かったが、通学利用者の減少や沿線住民の高齢化と、平成22年3月の当別整形外科の参加事業者脱退により、利用者数は減少の一途を辿った。

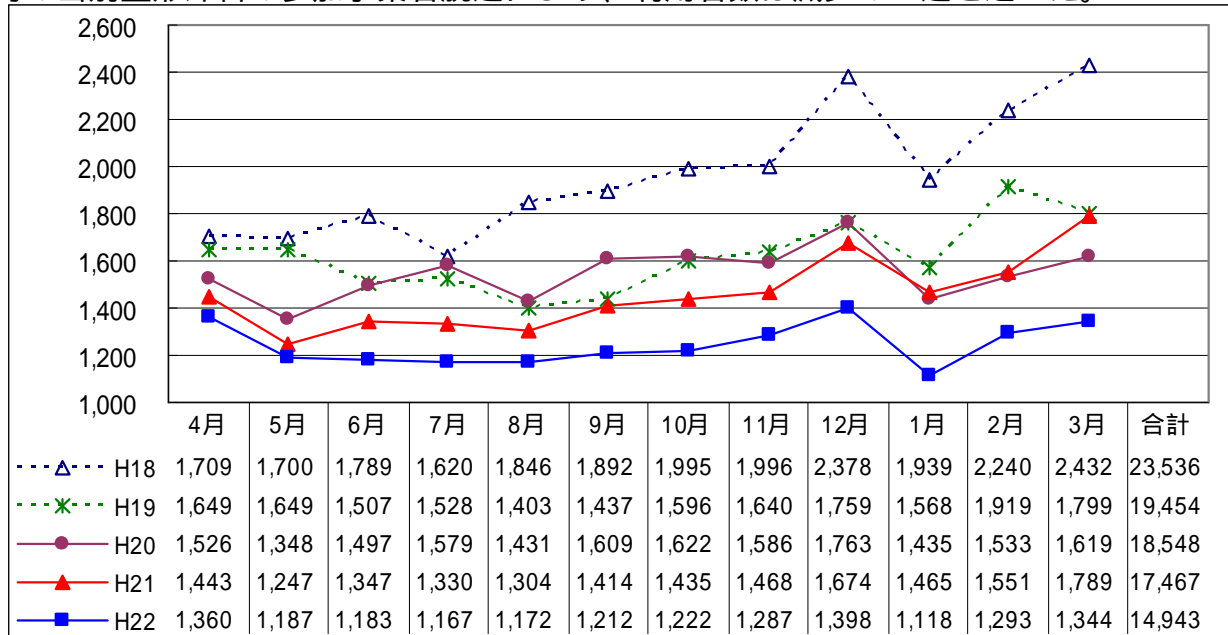


図 2-4-2 みどり野青山線月別利用者推移

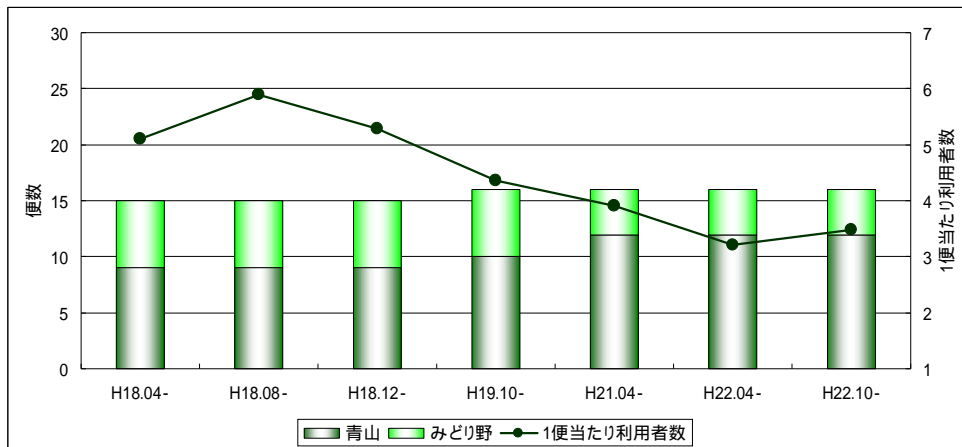


図 2-4-3 ダイヤ改正期別 1 便当たり利用者数推移 (平日)

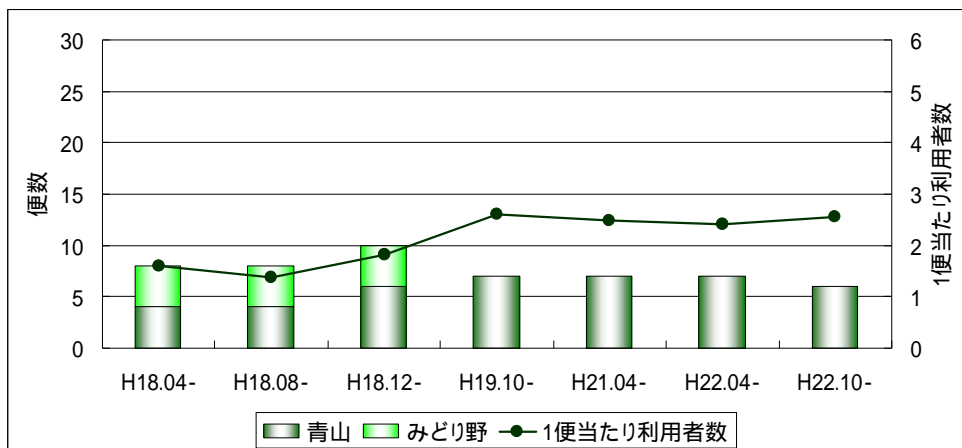


図 2-4-4 ダイヤ改正期別 1 便当たり利用者数推移 (土日祝日)

5. 協議会について

(1) 当別町地域公共交通活性化協議会の設置

平成19年10月に施行された「地域公共交通の活性化及び再生に関する法律」に基づき、当別町地域公共交通総合連携計画を策定し実施するため、平成20年2月に設置、計画を策定し、平成20～22年度の間、当別町コミュニティバス実証運行事業を含めた利用促進事業を行った。また、地域公共交通会議を包含した会議とし、コミュニティバスの路線・ダイヤの協議も行うほか、当別町生活交通ネットワーク計画の策定も行う。

選任区分	所属・役職	氏名
当別町長が指名する者	当別町 副町長	近藤 充徳
	当別町 福祉部長	高橋 通
	当別町教育委員会事務局 教育部長	小山 久夫
北海道運輸局札幌運輸支局長が指名する者	北海道運輸局札幌運輸支局 主席運輸企画専門官	新保 信一
北海道石狩支庁長が指名する者	北海道石狩支庁地域振興部 地域政策課長	田辺 きよみ
札幌地区バス協会の代表	社団法人北海道バス協会 専務理事	岩崎 友雄
関係する道路管理者	札幌開発建設部札幌道路事務所 第3工務課長	本間 定男
	空知総合振興局 札幌建設管理部 当別出張所長	渡辺 昭寿
	当別町 建設水道部長	滝本 隆志
関係する鉄道事業者	J R石狩当別駅長	羽賀 雅史
当別町コミュニティバス実証運行事業参加事業者の代表	北海道医療大学 経営企画部総務企画課長	鈴木 邦仁
	スウェーデンハウス株式会社 管理グループ次長	丸山 祐二
一般乗合旅客自動車運送事業者の代表	有限会社下段モータース 代表取締役	下段 寿之
一般貸切旅客自動車運送事業者の代表	山内建材工業株式会社 代表取締役	山内 孝司
一般乗合旅客自動車運送事業者の事業用運転手が所属する団体等の代表	有限会社下段モータース	工藤 亘平
地域住民及び団体の代表	当別町行政推進員連絡協議会 代表	山下 義則
	当別町PTA連合会 会長	森 政徒
	当別町高齢者クラブ連合会 会長	菊池 久
	当別町女性団体連絡協議会 理事	宮尾 道子
	当別町ボランティア連絡協議会 会長	五十嵐 廣子
	当別町商工会 事務局長	土肥 繁義
	当別町社会福祉協議会 主幹	只野 輝樹

表 2-5-1 当別町地域公共交通活性化協議会委員名簿（平成23年6月30日現在）

(2) 会議の開催

平成22年度は3回の協議会を開催した。協議会では、地域公共交通総合連携計画に基づき策定された計画事業の議論や進捗報告、予算の策定、路線の協議を行った。

回	開催日時	主な協議内容
平成22年第1回	平成22年6月11日	<ul style="list-style-type: none"> 平成21年度活性化・再生総合事業実績報告について 平成21年度協議会決算報告及び監査報告について 平成22年事業計画及び予算の変更について 本格運行向け協議スケジュールについて
第2回	平成22年9月29日	<ul style="list-style-type: none"> 夏休み子ども定期券の取組結果について オフセット・クレジット制度に基づくANAとの協定締結について JCOMMプロジェクト賞の受賞について 平成22年12月1日ダイヤ改正の協議
第3回	平成23年3月18日	<ul style="list-style-type: none"> 当別ふれあいバス 平成23年2月までの実績について 平成22年度予算執行状況について 平成23年度事業計画・予算案について
第3回	平成23年3月18日	<ul style="list-style-type: none"> 平成22年度活性化・再生総合事業実績報告について 平成22年度協議会決算報告及び監査報告について 当別町生活交通ネットワーク計画の策定

表 2-5-2 会議開催内容

6. 添付資料

(1) 地域公共交通確保維持改善事業を行う地域の概要

表1 地域公共交通確保維持事業により運行を確保・維持する運行システムの概要及び運行予定者

都道府県 (市区町 村)	運行予定者名	運行系統名	地域間幹 線/地域 内フィー ダーの別	確保維持事業 に要する国庫補 助額(千円)	地域内フィーダー系統の基準適合 (別表6「補助対象の基準」)		
					基準口で該 当する要件	接続する補助対象 地域間幹線系統 等と接続確保策	基準二で該 当する要件
当別町	有限会社下段モータース	市街地循環線	フィーダー	814		ダイヤ調整し接続確保 料金面での乗継優遇 乗継地点の集約化	
	有限会社下段モータース	金沢線	フィーダー	1,203		ダイヤ調整し接続確保 料金面での乗継優遇 乗継地点の集約化	
	有限会社下段モータース	みどり野線	フィーダー	174		ダイヤ調整し接続確保 料金面での乗継優遇 乗継地点の集約化	
	有限会社下段モータース	青山線	フィーダー	1,116		ダイヤ調整し接続確保 料金面での乗継優遇 乗継地点の集約化	
合 計							

(注)

1. 「地域内フィーダー系統の基準適合」は地域内フィーダー系統を記載する場合のみ記載する。
2. 「接続する補助対象地域間幹線系統等と接続確保策」には、地域内フィーダー系統が接続する補助対象地域間幹線系統又は地域間交通ネットワークとどのように接続を確保するかについて記載する。
3. 本表に記載する運行予定系統を示した地図を添付すること。

(2) 地域公共交通確保維持事業に要する費用の総額、負担者およびその負担額

表2 地域公共交通確保維持事業に要する費用の総額、負担者及びその負担額(地域内フィーダー系統(乗合バス型運行)用)

事業者名	有限会社下段モータース
------	-------------

1. 申請事業者の概要

補助対象期間の前々年度の損益状況	乗合バス事業・自家用有償旅客運送						
	営業収益	20,950千円	営業外収益	千円	経常収益(イ)	20,950千円	
	営業費用	49,822千円	営業外費用	千円	経常費用(ロ)	49,822千円	
補助対象期間の前々年度の実車走行キロ(ハ)	286,745 km	営業損益	28,872千円	営業外損益	千円	経常損益	28,872千円
						経常収支率	42%

2. キロ当たり補助対象経常費用及び収益

補助ブロック名	補助対象事業者の実車走行キロ当たり経常費用 ロ÷ハ=ニ	地域キロ当たり標準経常費用 ホ	キロ当たり経常費用 ニとホのいずれか少ない額 ヘ	キロ当たり経常収益 イ÷ハ
南北海道	173円 75銭	328円 66銭	173円 75銭	73円 6銭
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭

3. 補助対象系統ごとに要する費用、負担者とその負担割合

補助ブロック名	申請番号	運行系統名	運行系統			計画運行日数	系統キロ程		補助ブロック外乗入部分のキロ程		同一補助ブロック市区町村外乗入部分のキロ程	補助ブロック外乗り入れ部分及び同一補助ブロック市区町村外乗り入れ部分以外のキロ程の比率	計画実車走行キロ
			起点	主な経由地	終点		チ	リ	ヌ	(チ・(リ+ヌ))÷チ=ル			
1	市街地循環線	JR石狩当別駅南口	春日町	JR石狩当別駅南口	124日	往14.0Km	(平均)	往 . Km	(平均)	往 . Km	(平均)	%	20,832.0 km
						復14.0Km	14.0Km	復 . Km	. Km	復 . Km	. Km	100	
2	西当別線	JR石狩当別駅南口	JR石狩太美駅	ロイスト太美工場	183日	往12.0Km		往 . Km		往 . Km		%	31,297.6 km
						復12.0Km	12.0Km	復 . Km	. Km	復 . Km	. Km	100	
3	金沢線	JR石狩当別駅南口	ラルズ前	北海道医療大学	124日	往4.0Km		往 . Km		往 . Km		%	11,904.0 km
						復4.0Km	4.0Km	復 . Km	. Km	復 . Km	. Km	100	
4	みどり野線	JR石狩当別駅南口	とうべつ整形外科	みどり野会館	124日	往9.0Km		往 . Km		往 . Km		%	4,464.0 km
						復9.0Km	9.0Km	復 . Km	. Km	復 . Km	. Km	100	
5	青山線	JR石狩当別駅南口	とうべつ整形外科	青山会館	183日	往15.5Km		往 . Km		往 . Km		%	28,551.0 km
						復15.5Km	15.0Km	復 . Km	. Km	復 . Km	. Km	100	
合計	系統					往 . Km		往 . Km		往 . Km		%	. km
						復 . Km	. Km	復 . Km	. Km	復 . Km	. Km		

補助ブロック名	申請番号	補助対象経常費用の見込額	補助対象系統のキロ当たり経常収益(前々年度の実績額)	補助対象系統の経常収益の見込額	補助対象経常費用から経常収益を控除した額	補助対象経常費用の限度額	ヨ又はタのうちいずれか少ないほうの額	レのうち補助ブロック外乗入部分及び同一補助ブロック市区町村外乗入部分以外に係るもの	補助対象経常費用	補助対象経常費用の1/2	国庫補助上限額	国庫補助金内定申請額(ネ又はナのうちいずれか少ないほうの額)
		ヘ×ラ以下の額:ワ	ト	ト×ラ以上の額:カ	ワ-カ=ヨ	ワ×9/20=タ	レ	レ×ル=ソ	ツ	ツ×1/2=ネ	ナ	ラ
1		3,619,560円	24円 99銭	520,591円	3,098,969円	1,628,802円	1,628,802円	1,628,802円	1,628千円	814.0千円		
		5,438,027円	72円 28銭	2,262,219円	3,175,808円	2,447,112円	2,447,112円	2,447,112円	2,447千円	1,223.5千円		
3		2,068,320円	375円 87銭	4,474,356円	-2,406,036円	930,744円	-2,406,036円	-2,406,036円	-2,406千円	-1,203.0千円		
		775,620円	39円 44銭	176,060円	599,560円	349,029円	349,029円	349,029円	349千円	174.5千円		
5		4,960,736円	36円 64銭	1,046,108円	3,914,628円	2,232,331円	2,232,331円	2,232,331円	2,232千円	1,116.0千円		
		円	円 銭	円	円	円	円	円	千円	千円		
合計		16,862,263円	円 銭	8,479,334円	8,382,929円	7,588,018円	4,251,238円	4,251,238円	4,250千円	2,125.0千円	千円	2,125千円

補助ブロック名	申請番号	経常費用から経常収益を控除した額 ニ×ヲ-カ=ム	損失額から国庫補助額を控除した額 ム-ラ=ウ	ウの負担者とその負担割合									
				都道府県		市区町村		その他の者		事業者自己負担		「その他の者」の具体的な概要	
				負担額	負担割合	負担額	負担割合	負担額	負担割合	負担額	負担割合		
	1	3,098,969 円	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	
	2	3,175,739 円											
	3	-2,406,036											
	4	599,560											
	5	3,914,628 円											
		円											
合計		8,382,860 円	6,257,860 円	円	%	円	%	6,257,860円	100	%	円	%	地域協議会

(1) 記載要領

- 1.「補助ブロック名」の欄は、補助金交付要綱別表1(附則第12条の適用を受ける事業者によっては別表2)の名称を記載すること。
- 2.乗合バス事業の収益、実車走行キロについては、高速バス及び定期観光バス等を除き、費用については、高速バス及び定期観光バス並びに補助対象期間(補助金交付要綱第5条で定める期間)における補助金交付要綱第2編第1章第3節に係る経常費用を除くこと。
- 3.補助対象事業者の決算期間が補助対象期間(補助金交付要綱第5条で定める期間)と相違している事業者においては、補助対象期間の仮決算を行い、その損益状況を損益状況欄に記載すること。
- 4.補助対象期間(補助金交付要綱第5条で定める期間)中の乗合バス(自家用有償運送)事業と他の事業を兼業している場合の関連収益及び費用の配分は、昭和52年5月17日付け自総第338号、自旅第151号、自貨第55号によること。なお、これにより会計を整理することができない特別の理由があるときは、国土交通大臣に報告し、その承認を求めること。
- 5.申請番号は、系統ごとに一連番号とすること。なお、1系統が2つ以上の補助ブロックにまたがる場合は、その比率に応じ低い方をカッコ書きの番号とすること。
- 6.地域キロ当たり標準経常費用は、補助ブロックを管轄する地方運輸局長が通知した数値によること。
- 7.計算上生じた単位未満の端数は切り捨てること。
- 8.「系統キロ程」、「補助ブロック外乗入部分のキロ程」及び「市区町村外乗入部分のキロ程」は、小数点第1位(第2位以下切り捨て)まで算出し、往・復のキロ程が異なる系統については、平均値も記載すること。また、平均値の合計の欄については、往・復の合計の平均値ではなく、各申請系統の往・復の平均値の合計を記載すること。
- 9.「同一補助ブロック市区町村外乗入部分のキロ程」の欄は、同一補助ブロック内における市区町村外乗入部分のキロ程を記載することとし、補助ブロックが異なる市区町村外乗入部分は(リ)に記載すること。
- 10.「補助ブロック外乗入部分及び市区町村外乗入部分以外のキロ程の比率(ル)」については、%以下第3位(小数点第4位切り捨て)まで算出して記載すること。
- 11.「計画実車走行キロ」は、小数点第1位(第2位以下切り捨て)まで算出して記載すること。
- 12.「補助対象経費」の欄は、(ソ)の金額を記載する(千円未満の端数は切り捨てること)。
- 13.「補助対象経費の1/2」の欄は、系統ごとに百円単位(0.5千円)まで記載することとし、合計の千円未満の端数は切り捨てること。
- 14.「国庫補助上限額」の欄は、市区町村等が当該市区町村等に係る国庫補助上限額のうち、各事業者ごとに配分した額を記載すること。

(2) 添付書類

1. 補助対象期間(補助金交付要綱第5条で定める期間)の前々年度に係る旅客自動車運送事業等報告規則第2条第2項の「事業報告書」(補助金交付要綱第2編第1章第3節に係る経常費用を除く)及びこれに関連する必要な事項を記載した書類

(3) 地域公共交通確保維持改善事業を行う地域の概要

表5 地域公共交通確保維持改善事業を行う地域の概要

市町村名	当別町
------	-----

(単位:人)

	人口
人口集中地区以外	12555
交通不便地域	

交通不便地域の内訳

人口	対象地区	根拠法

(1) 記載要領

1. 人口は最新の国勢調査結果を基に記載すること。
2. 「人口集中地区以外」の欄は、国勢調査結果により設定された人口集中地区に該当しない地区の人口を記載すること。
3. 「交通不便地域」の欄は、過疎地域自立促進特別措置法に基づく過疎地域(過疎地域とみなされる市町村、過疎とみなされる区域を含む。)、離島振興法に基づく離島振興対策実施地域、半島振興法に基づく半島振興対策実施地域、山村振興法に基づく振興山村に該当する地域の人口を記載すること。
4. 「対象地区」の欄には、当該市町村の一部が(3.)に掲げる法律(根拠法)に基づき地域指定されている場合に、根拠法ごとに当該区域の旧市町村名等を記載すること。

(2) 添付書類

1. 人口集中地区以外の地区及び交通不便地域の区分が分かる地図

添付書類 人口集中地区

01 北海道 Hokkaido

303 石狩支庁当別町 Ishikari-shicho Tobetsu-cho

